



令和5年(2023年)第10週 2023年3月6日(月)~2023年3月12日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



ヘルパンギーナが少し増加しています。丁寧な手洗いを心がけ感染予防に気をつけましょう。

●ヘルパンギーナについて

コクサッキーウイルスなどのエンテロウイルスの感染により、口の中の粘膜に小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。1~4歳くらいまでの乳幼児がかかりやすい夏風邪の代表的な病気の1つです。

◆どんな病気?

- ・**症状**……突然の発熱(38~39℃)に続いて、のどが赤く腫れて痛み、口の中の粘膜に直径1~2mmほどの小さな水疱ができます。水疱が破れて浅い潰瘍になると痛みを伴います。
- ・**潜伏期間**…2~4日程度
- ・**感染経路**…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2~4週間は便の中にウイルスが排泄されます。
- ・**流行期**……熊本市の過去5年間のデータでは、5月頃より増加し始め、8月頃にかけてピークとなり、秋ごろまで続く傾向があります。

◆かかったらどうすればいいの?

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や心筋炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、脱水症状があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
- ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は?

- ・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。こどものおむつを取り替えた後や、鼻水をとった後などは、しっかり手を洗いましょう。



期 間		2023年 9週		2023年 10週	
		2/27~3/5		3/6~3/12(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↓	202	8.08	151	6.04
RSウイルス感染症	↓	17	1.06	13	0.81
咽頭結膜熱(プール熱)	→	1	0.06	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	7	0.44	8	0.50
感染性胃腸炎	→	61	3.81	61	3.81
水痘(みずぼうそう)	→	0	0.00	0	0.00
手足口病	→	0	0.00	0	0.00
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	↑	7	0.44	10	0.63
ヘルパンギーナ	↑	6	0.38	14	0.88
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	1	0.20	1	0.20
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00